授業科目 器械運動II

【担当教員名】 小田切 毅 一		対象学年	2	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 「器械運動I」で体得した技術をさらに向上させ、さらに指導出来る方法などを強化し、身につけることを目的とする。					
【学習目標・行動目標：SB0】 ・マット、鉄棒、跳び箱の運動について、教員採用試験に出題される技の程度を習得する。 ・器械運動が苦手な対象者に向けて、合理的な補助法を学ぶとともに、安全性を確保する指導上の留意点などを配慮できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	器械運動の指導に当たって。(その他に班分け、授業の留意点など)				
2	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習1				
3	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習2				
4	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習3				
5	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習4				
6	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習5				
7	班別(マット、鉄棒、跳び箱)による相互学習6				
8	前半の総括				
9	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習1				
10	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習2				
11	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習3				
12	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習4				
13	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習5				
14	班別(苦手な者と得意な者との協力班)による相互学習6				
15	後半の総括				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		器械運動授業ノート	日本体育大学体操研究室	アイオーエム	2006・1,200円
参考書					
その他の資料		授業に先立ち適宜配布			
【評価方法】 出欠の実績+試験・レポート			【履修上の留意点】		